



盛岡広域圏における スポーツ施設の ストック適正化指針

スポーツの力が盛岡広域圏の未来を創る

盛岡広域スポーツコミッション

盛岡市 八幡平市 滝沢市 雫石町 葛巻町 岩手町 紫波町 矢巾町

2022 年 2 月

目 次

第1章 指針の基本的事項

1	背景・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
3	位置付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
4	構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
5	対象とする施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
6	目標年度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3

第2章 スポーツ施設に係る基本情報

1	対象施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
2	対象施設の基本情報・・・・・・・・・・・・・・・・	4

第3章 スポーツ施設の現状と課題

1	各市町が保有するスポーツ施設・・・・・・・・	17
2	県が盛岡広域に保有する大規模・高規格なスポーツ施設・・・・・	34
3	特に公共性の高い民間スポーツ施設・・・・・・・・	38

第4章 スポーツツーリズム施設の望ましい姿

1	スポーツ施設を活用したスポーツツーリズムの成果と課題・・・・・	49
2	スポーツツーリズム施設に求められる機能・・・・・・・・・・・・・・	50
3	広域的視点に立ったスポーツツーリズム施設の方向性・・・・・・・・・・	54
4	スポーツツーリズム施設の望ましい姿・・・・・・・・・・・・・・・・・	54

第5章 まとめ～スポーツの力が盛岡広域圏の未来を創る～・・・ 71

参考資料

別冊資料 施設情報シート

第1章 指針の基本的事項

1 背景

盛岡広域スポーツコミッション（以下「コミッション」という。）は、2016 希望郷いわて国体・いわて大会の様々な遺産を確実に未来に引き継いでいくために2017年3月に創設された。

「スポーツの力が盛岡広域圏の未来を創る」のスローガンを掲げ、スポーツによる交流人口の拡大、地域スポーツの推進、東京オリ・パラなどメガスポートイベントへの取組を基本的施策として事業を進めてきた。中でも人口減少・少子高齢社会に対応し、広域的視点に立ったスポーツ施設を効果的・効率的に維持管理する取組、いわゆるストック適正化[※]の推進は、コミッションが取り組むべき最重要課題の一つと位置付けている。

コミッションでは、まず広域圏におけるストック適正化に係る基礎データを収集・分析することとし、2017年度には「住民意識調査」を、2019年度には「施設利用実態調査」を実施した。その結果、平日・日中の利用率が低いなどの課題はあるものの、施設の現状は概ね住民ニーズに合致していることがわかった。

各市町においては、厳しい財政環境の中で住民ニーズに応え、現在のサービスを維持させるために公共施設等総合管理計画を策定している。スポーツ施設は盛岡広域圏の「賑わい創出と魅力発信」に貢献する貴重な地域資源でもあり、各市町の取組との整合を図りながら盛岡広域圏全体のストック適正化をどのように進めていくべきかが大きな課題となっている。

※ストック適正化：主に公共施設について、適正な質・量を確保し、持続的にサービスの提供と利便性の向上を図ること。

2 目的

本指針策定の目的は、次のとおりである。

なお、本指針においては、大規模大会や合宿誘致等によりスポーツを通じた賑わいの創出や魅力の発信への貢献が期待できるスポーツ施設をスポーツツーリズム施設と呼ぶこととする。

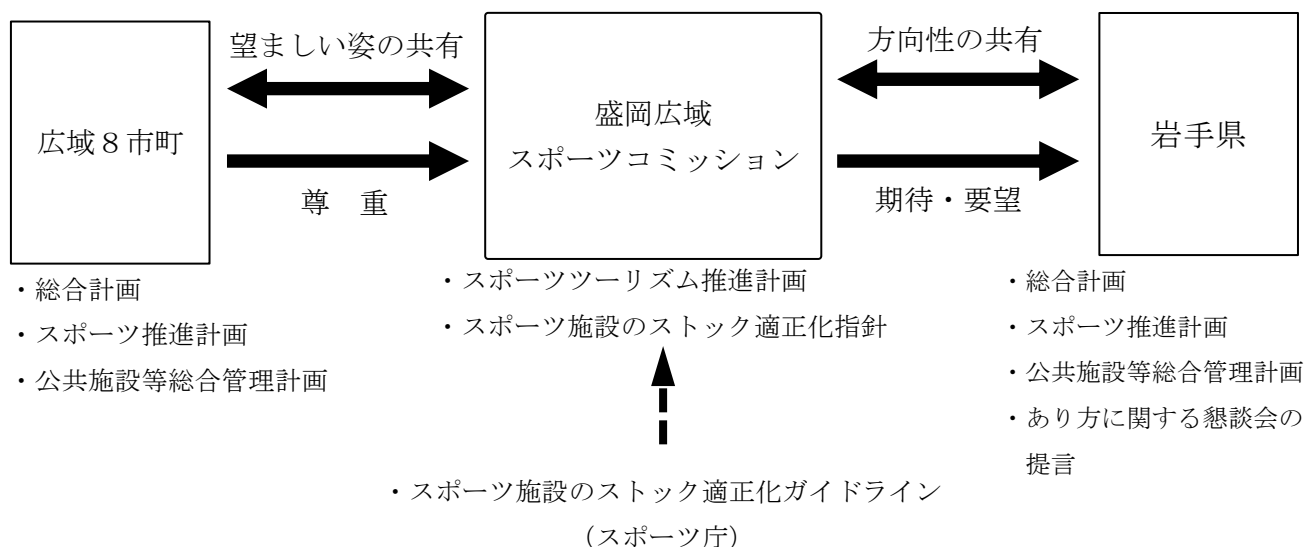
- (1) 各市町が保有するスポーツ施設に関する情報をデータベース化することで、広域的な課題や役割に関する認識を共有する。
- (2) 広域的視点での評価・分析結果を各市町の公共施設等総合管理計画に重ね、スポーツ施設を活用したスポーツツーリズム推進の方向性を共有する。
- (3) 各市町が保有するスポーツツーリズム施設に対し、今後望まれる機能等を明らかにする。
- (4) 県が盛岡広域圏に保有する大規模・高規格な施設及び特に公共性の高い民間施設に対し、今後期待する機能等を明らかにする。
- (5) スポーツツーリズム施設の広域的補完・連携の望ましい姿を明らかにする。

3 位置付け

本指針は、第一次盛岡広域スポーツツーリズム推進計画に基づき策定するものである。

また、本指針と各市町等の総合計画・スポーツ推進計画・公共施設等総合管理計画等との関係性は、次のとおりとする。

- (1) 本指針は、広域的視点に立ったスポーツ施設の望ましい姿を広域圏で共有しようとするものであり、各市町の各種計画に基づく取組を制約するものではない。
- (2) 各市町は、各種計画に基づく取組に当たって本指針の趣旨を尊重し、広域的相互補完・連携施策の推進に努めるものとする。
- (3) 県営施設に期待する機能等を明らかにし、スポーツツーリズム推進に係る方向性を共有する。



4 構成

本指針は、「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン（2018年スポーツ庁）」（以下「ガイドライン」という。）を基本に、コミッション独自の視点を取り入れて構成し、本指針とガイドラインとの関係は次のとおりとする。

ガイドラインでは、(1) 基本情報の把握、(2) 施設の現況評価、(3) スポーツ施設の評価、(4) 個別施設計画の検討と整理されているが、本指針では次のように整理した。

(1) スポーツ施設の基本情報の把握（本指針第2章）

- ・ 整備年 ・ 施設規模 ・ 構造 ・ 競技面数 ・ 付帯設備 ・ 観客収容人数
- ・ 駐車台数 ・ 管理運営形態

【ガイドラインに基づき整理】

(2) 施設の現況評価（本指針第3章）

- ・ 安全性 ・ 機能性 ・ 安全対策 ・ 経済性 ・ 耐震性 等

【ガイドラインに基づき整理】

(3) スポーツ施設の評価（本指針第3章）

- ・ 政策方針の検討 ・ 環境に関する情報の収集・整理

【本指針においては、公共施設等総合管理計画等に基づき、各市町の方針等を整理】

(4) 個別施設計画の検討（本指針第4章）

- ・ 政策優先度 ・ 基本方針

【本指針においては、スポーツツーリズム施設の望ましい姿、期待する機能等を提示】

5 対象とする施設

- (1) 各市町が保有するスポーツ施設
- (2) 県が盛岡広域圏に保有する大規模・高規格なスポーツ施設
- (3) 特に公共性の高い民間スポーツ施設

6 目標年度

2031 年度を目標年度とする。

なお、広域 8 市町間で状況を共有し、2026 年度に必要な見直しを行う。

第2章 スポーツ施設に係る基本情報

ガイドラインに基づき、各市町が保有するスポーツ施設、県が盛岡広域圏に保有する大規模・高規格なスポーツ施設及び特に公共性の高い民間スポーツ施設に係る基本情報を把握しデータベース化した。

このことにより、今後各市町が進める広域的視点を加えたスポーツ施設のストック適正化の検討が容易となる。

1 対象施設

(1) 各市町が保有するスポーツ施設 93 施設

- ・盛岡市 30 施設
- ・八幡平市 21 施設
- ・滝沢市 10 施設
- ・雫石町 10 施設
- ・葛巻町 6 施設
- ・岩手町 7 施設
- ・紫波町 5 施設
- ・矢巾町 4 施設

(2) 県が盛岡広域圏に保有する大規模・高規格なスポーツ施設 18 施設

(3) 特に公共性の高い民間スポーツ施設 5 施設

- ・オガールアリーナ（㈱オガール）
- ・紫波自転車競技場（（一財）紫波町体育協会）
- ・岩手県フットボールセンター（（公社）岩手県サッカー協会）
- ・ウェルベース矢巾（日本調剤㈱）
- ・安比高原テニスクラブ（㈱岩手ホテルアンドリゾート）

2 対象施設の基本情報

対象施設の基本情報を、次ページ以降に一覧表としてまとめた。

- ・施設名称（施設種別）
- ・設置者等
- ・所在
- ・整備年
- ・施設規模
- ・構造
- ・競技数量等及び付帯設備
- ・運営形態
- ・運営団体
- ・防災計画上の位置付

なお、各施設の個票（施設情報シート）については別冊とした。

第3章 スポーツ施設の現状と課題

本章では、ガイドラインに基づき各市町が保有するスポーツ施設の現況評価を行うとともに、県が盛岡広域圏に保有する大規模・高規格施設及び特に公共性の高い民間スポーツ施設についても、収集した情報をもとに整理し、掲載した。

1 各市町が保有するスポーツ施設

(1) 施設の現況評価

①対象施設

各市町が保有するスポーツ施設で公共施設等総合管理計画の対象施設

②現況評価の内容

「安全性」「機能性」「安全対策」「経済性」「耐震性」等の評価結果を現況評価一覧表（P41～P47）にまとめた。

(2) 公共施設等総合管理計画に基づくスポーツ施設の現状と課題等

各市町においては、スポーツ施設を含めた公共施設を適切に管理し、計画的な整備や改修を行うために「公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」という。）及び「個別施設計画」を策定している。（八幡平市は、現在「個別施設計画」を策定中）

なお、建設後間もないものや構造物のほとんどないグラウンドなどは総合管理計画の対象外となっている。

本項では、総合管理計画に基づく施設の評価結果等をデータベース化するとともに、スポーツツーリズム施設を抽出して、総合管理計画上的方針、実績、課題等を明らかにする。

①盛岡市

ア 計画期間：2016年度～2025年（10年間）

イ スポーツ施設に関する基本的な方針

- ・ 県、民間及び地域団体等との役割分担を検討し、民営化や統合を進める。
- ・ 利用者が限られる施設は、管理体制の見直しを含めて、施設の譲渡又は廃止などの方向性を定める。
- ・ 年間を通じて体育のみならずコンベンション等へも利用可能な施設として、利用拡大を図る。
- ・ 体育館の設置状況を考慮し、他の施設との統合、複合化に取り組む。

ウ 評価内容等（総合管理計画（中期計画）より一部抜粋）

No	施設名	建築 年度	経過 年数 2021 現在	構造	延床面積 (㎡)	評価結果等 (中期計画)
1	盛岡市総合アリーナ (盛岡タカヤアリーナ)	1989	32	SRC 造	12,770.00	2026 年度以降 大規模修繕
2	盛岡市立総合プール	1999	22	RC 造	8,452.84	2020 年度 大規模修繕
3	盛岡市都南中央公園プ ール	1997	24	RC 造	571.10	2026 年度以降 廃止・解体

No	施設名	建築 年度	経過 年数 2021 現在	構造	延床面積 (㎡)	評価結果等 (中期計画)
5	盛岡市浜民運動公園 (体育館)	1981	40	RC 造	4,297.75	2016 年度 大規模修繕
10	盛岡市浜民運動公園 B&G 海洋センター (プ ール)	1984	37	RC 造	6,156.48	2026 年度以降 大規模改修
11	盛岡市立生出スキー場	—	—	—	173.07	2019～2021 年度 大規模改修
12	盛岡体育館	1996	25	RC 造	7,594.00	2022 年度大規模修繕
13	盛岡市営野球場	1938	83	RC 造	11,300.00	建替・解体
15	盛岡市立武道館	1981	40	RC 造	2,143.00	2018 年度大規模改修
16	盛岡市立弓道場	1996	25	RC 造	448.57	2021 年度方針検討
17	盛岡市立綱取スポーツ センター	1986	35	S 造	17,400.00	2022～2025 年度 役割, 老朽化, 立地条件, 利用状況を勘案し譲渡 又は廃止
19	盛岡南公園球技場 (いわぎんスタジアム)	1999	22	S 造	5,989.00	2021 年度 大規模修繕
21	盛岡市都南体育館	1972	49	S 造	1,703.00	建て替え 飯岡体育館との複合化 を含めた検討
22	盛岡市立乙部運動広場	1995	26	W造	1,029.00	2022～2025 年度 建屋部分解体 (運動広場 は存続)
23	盛岡市立太田テニスコ ート	1978	43		10,840.00	2026 年度以降 大規模修繕
25	盛岡市飯岡体育館	1974	47	S 造	678.90	建て替え 都南体育館との複合化 を含めた検討
26	盛岡市乙部体育館	1975	46	S 造	686.00	都南東部地区スポーツ 施設への機能移転の検 討, 現建物解体
27	盛岡市好摩体育館	2012	9	RC 造	1,389.31	2026 年度以降修繕
30	盛岡市屋内ゲートボー ル場	1991	30	W造	998.00	2026 年度以降 大規模改修

※No. 4 盛岡市アイスリンク (みちのくコカ・コーラボトリングリンク), No. 20 盛岡市立つなぎ多目的運動場は, 建設から一定期間が経過していないため中期計画対象外となっている。

※No. 6 盛岡市浜民運動公園陸上競技場～No. 9 盛岡市玉山運動場, No. 14 盛岡市太田橋野球場, No. 18 盛岡市立東中野運動広場, No. 24 盛岡市立松園テニスコート, No. 29 好摩テニスコートは, 構造物がほとんどないことから総合管理計画の対象外となっている。

エ スポーツツーリズム施設の現状と課題

No. 1 盛岡市総合アリーナ（盛岡タカヤアリーナ）

総合管理計画上の方針	・ 2026 年以降に長寿命化にかかる修繕を実施 ・ 通年コンベンション等への利用可能施設として，利用拡大を図る。
主な大会・合宿実績	・ 2016 年 希望郷いわて国体（体操） ・ 2018 年 テニス国別対抗戦デビスカップ ・ B リーグ公式戦
現状と課題	・ 2017 年にスケートリンク機能を廃止し総合アリーナ化されたことにより，利用率が大幅に増加した。 ・ 県最大級のアリーナであり，交通の利便性も高く，県大会はもとより全国規模の大会やイベントなど，スポーツ以外にも広く活用されている。 ・ アイスアリーナだったことから，構造上暖房温度が上がりにくい。

No. 2 盛岡市立総合プール

総合管理計画上の方針	・ 中期計画に基づき，施設の整備，維持更新を実施 ・ 2020 年に長寿命化にかかる修繕を実施
主な大会・合宿実績	・ 2016 年 希望郷いわて国体・いわて大会（水泳） ・ 2017 年 全国 JOC ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会アーティスティックスイミング競技 ・ 2018 年 イーハトーブマスタース水泳大会 ・ 2018 年 水球カナダ・水球日本代表合同合宿（男女） ・ 2020 年 水球日本代表合宿 ・ 2021 年 東京 2020 水球カナダ女子事前合宿
現状と課題	・ 盛岡広域では，総合プールと県営温水プールが日本水泳連盟公認 50m コースとなっている。 ・ 競泳スタート台が，インターハイ等の競技大会の最新の仕様でなく，競技団体から更新の要望がある。

No. 4 盛岡市アイスリンク（みちのくコカ・コーラボトリングリンク）

総合管理計画上の方針	・2015年に建設された施設であり、総合管理計画の対象外 ・今後、計画的に施設の整備、維持更新を実施
主な大会・合宿実績	・2019年 浅田真央サックスツアー ・2019年 日本学生女子アイスホッケー大会 ・2020年 ビクトリア杯カーリング大会 ・2021年 全日本アイスホッケー選手権大会 ・デフカーリング日本代表合宿 ・トヨタ自動車スケート部合宿
現状と課題	・通年利用できるスケートリンクとして、県内外から多くの利用がある。貸切利用の場合は、深夜時間帯も利用できることから、様々な年代やカテゴリの合宿等で幅広く利用されている。 ・競技団体から「大会誘致のための観客席増設」「利用増によるカーリングシート増設」などの要望がある。

No. 19 盛岡南公園球技場（いわぎんスタジアム）

総合管理計画上の方針	・中期計画に基づき、施設の整備、維持更新を実施 ・2021年に長寿命化にかかる修繕を実施
主な大会・合宿実績	・2016年 希望郷いわて国体（サッカー）いわて大会（サッカー（知）） ・2019年 RWC ナミビア代表公認チームキャンプ ラグビー日本代表合宿 ラグビーカナダセブンス・日本代表候補合同合宿（女子） ・J3公式戦、ラグビートップリーグ公式戦
現状と課題	・天然芝のグラウンドを2面有しており、サッカーJ3、ラグビートップリーグの試合が開催されている。2021年には夜間照明設備が設置され、大会及び練習でナイター利用されている。 ・同スタジアムの天然芝の品質が高く、RWC2019の際に合宿したナミビア代表、ラグビー日本代表、Jリーグ、ラグビーカナダ代表などから極めて高い評価を受けている。地元プロチーム等から練習でも使用したいとの要望があるが、芝の品質維持を前提に利用頻度を調整している。

No. 23 盛岡市立太田テニスコート

総合管理計画上の方針	・中期計画に基づき、施設の整備、維持更新を実施 ・2026年以降に長寿命化にかかる修繕を予定
主な大会・合宿実績	・2016年 希望郷いわて国体（成年（男女）テニス） ・2019年 全日本学生選手権大会（軟式テニス） ・2019年 日本シニアテニス全国親睦大会
現状と課題	・16面の砂入り人工芝コートであり、希望郷いわて国体を機に屋内化（2面）及び駐車場の拡充を行ったことから利便性が大幅に向上した。 ・八幡平市の安比高原テニスクラブ、和賀川グリーンパークとともに、全国大会の開催会場として多くの実績がある。 ・盛岡駅から遠いため、大規模大会、合宿開催の際の交通手段の確保・充実が課題である。

②八幡平市

ア 計画期間：2016 年度～2055 年（40 年間とし、10 年ごとに計画の見直しを行う。）

イ スポーツ施設に関する基本的な方針

- ・市民の健康づくり等の場、また、スポーツへの取組や競技力の向上を図るため、基本的に継続する。
- ・一部の施設を除き、利用状況が低い施設があり、地区コミュニティセンターの併設スポーツ施設、学校の地域開放施設及び民間施設などのスポーツ施設の状況も勘案し、施設の位置づけを明確にし、配置の在り方を検討する。
- ・観光、レクリエーション施設との連携を図るとともに、スポーツツーリズムを推進し、地域経済の活性化、観光振興に寄与する仕組みづくりを進める。
- ・指定管理者導入の目的に鑑み、仕様書の内容を精査し、これまで以上に効果的かつ効率的な管理運営を図る。
- ・管理運営費総額に占める利用料金の割合が低いことから、使用料の減額や免除の見直しを含め、受益者負担の適正化を図る必要がある。

ウ 評価内容等（八幡平市スポーツ施設長寿命化計画より一部抜粋）

No	施設名	建築 年度	経過 年数 2021 現在	構造	延床面積 (㎡)	施設評価・方向性
31	八幡平市総合運動公園体育館	2004	17	RC 造	1,628.00	機能-継続 施設-継続
32	八幡平市総合運動公園野球場	2001	20	SRC 造	16,647.00	機能-継続 施設-継続
33	八幡平市総合運動公園多目的運動場	1998	23	—	16,154.00	機能-継続 施設-継続
34	八幡平市三ツ森グラウンド	1991	30	—	38,600.00	機能-廃止 施設-廃止
35	八幡平市いこいの村岩手体育館	1995	26	S 造	1,443.00	機能-継続 施設-検討
36	八幡平市松尾総合運動公園多目的運動場	1999	22	—	28,610.00	機能-継続 施設-継続
37	八幡平市松尾総合運動公園屋内運動場(アリーナまつお)	1999	22	RC 造	2,018.00	機能-継続 施設-継続
38	八幡平市松尾柔剣道場	1980	41	RC 造	435.00	機能-移転 施設-廃止
39	八幡平市松尾相撲場	1979	42	S 造	55.00	機能-継続 施設-継続
40	八幡平市松尾テニスコート	1991	30	—	2,733.00	機能-継続 施設-継続
41	八幡平市松尾 B&G 海洋センター（プール）	1989	32	S 造	1,013.00	機能-継続 施設-継続
42	八幡平市鬼清水球技場	1997	24	—	63,000.00	機能-検討 施設-検討

No	施設名	建築 年度	経過 年数 2021 現在	構造	延床面積 (㎡)	施設評価・方向性
43	八幡平市ラグビー場	1994	27	—	89,100.00	機能-継続 施設-継続
44	八幡平市中山ラグビー場	1988	33	—	34,800.00	機能-検討 施設-継続
45	八幡平市中山野球場	1996	25	—	32,000.00	機能-廃止 施設-検討
46	八幡平市安代地区体育館	1986	35	S 造	947.00	機能-継続 施設-継続
47	八幡平市矢神体育館	1981	40	S 造	594.00	機能-検討 施設-検討
48	八幡平市安代グラウンド	1998	23	—	13,497.00	機能-廃止 施設-廃止
49	八幡平市田山グラウンド	1993	28	—	23,037.00	機能-継続 施設-継続
50	八幡平市田山スキー場・射撃場	1987	34	—	—	機能-継続 施設-継続
51	八幡平市矢神飛躍台 (田山スキー場ジャンプ台)	1996	25	—	—	機能-継続 施設-継続

※施設評価・方向性は、公共施設等総合管理計画の今後の方向性に基づき、「施設の安全性、必要性」、「施設の有効性」、「管理運営の効率性」の視点から検証した方向性

エ スポーツツーリズム施設の現状と課題

No. 31 八幡平市総合運動公園体育館, No. 32 八幡平市総合運動公園野球場

総合管理計画上の 方針	・体育館は、市のスポーツ施策推進の拠点施設であり、各種大会やイベントなど多彩な事業を実施しており、今後も必要な施設である。 ・市内唯一の本格的な野球場であり、全国高等学校野球選手権岩手大会にも使用されていることから、今後も必要な施設である。建築から19年経過していることから、電気設備及びグラウンドの経年劣化が進んでおり、早期改修が必要である。
主な大会・合宿 実績	・全国高等学校等野球選手権岩手大会等各種大会 ・県大会レベルの大会
現状と課題	・運動公園には、体育館、野球場、多目的運動広場が集約されており、様々な大会やイベントに対応できる。 ・野球場は、観覧席や夜間照明が整備された球場であり、大会や合宿誘致に必要な設備は整っている。 ・ホテル、旅館等の数が多く、大会や合宿の規模や利用者のニーズに応じて宿泊施設を選択することができる。

No. 39 八幡平市松尾相撲場

総合管理計画上の方針	・ 建築から 41 年経過し、県営武道館相撲場など、広域利用が可能な代替施設が整備されていることから、老朽化した箇所の修繕を行いながら継続使用し、大規模改修が必要となった段階で廃止を含めて検討する。
主な大会・合宿実績	・ 2017 年 東日本実業団相撲選手権大会 ・ 2019 年 東北高校選手権大会 ・ 2020 年 東北選抜小中学校相撲大会
現状と課題	・ 県内における相撲競技の拠点施設として活用されてきたが、建築から 40 年以上が経過しており、老朽化が進んでいる。 ・ 東北の同規模以上の相撲場は、十和田市立相撲場のみである。 ・ ホテル、旅館等の数が多く、大会や合宿の規模や利用者のニーズに応じて宿泊施設を選択することができる。

No. 43 八幡平市ラグビー場

総合管理計画上の方針	・ 天然芝ラグビー場を 5 面設け、全国高等学校ラグビーフットボール大会岩手県予選のほか、ジャパンラグビートップリーグ加盟チームの合宿にも使用されるなど、観光振興にも寄与しており、今後も必要な施設である。
主な大会・合宿実績	・ パナソニックワイルドナイツ（ジャパンラグビートップリーグ）合宿 ・ 全国高等学校ラグビーフットボール大会岩手県予選
現状と課題	・ 市ラグビー場は、広域圏内でも最大の天然芝グラウンドである。フリーウエイトなど合宿受入れのために必要な設備が整っている。 ・ ホテル、旅館等の数が多く、大会や合宿の規模や利用者のニーズに応じて宿泊施設を選択することができる。

No. 44 八幡平市中山ラグビー場

総合管理計画上の方針	・ 天然芝ラグビー場を 1 面設け、グラウンド内には管理棟（鉄筋コンクリート造平屋建て）、トイレ（鉄筋コンクリート造平屋建て）、東屋（W造平屋建て）を設置している。耐震基準を満たしているが、建築から 33 年経過し、利用者が少ないこと、市内外に代替施設が存在することから、今後の在り方の検討が必要である。
主な大会・合宿実績	・ ラグビー東日本クラブ選手権大会 ・ 県外高校合宿
現状と課題	・ 中山ラグビー場は、同市の天然芝グラウンド（市ラグビー場、鬼清水球技場）の中で唯一常設スタンド席がある。 ・ スタンド席を兼ねた管理棟は建設から 33 年が経過し、設備等の老朽化が進んでいる。 ・ ホテル、旅館等の数が多く、大会や合宿の規模や利用者のニーズに応じて宿泊施設を選択することができる。

No. 50 八幡平市田山スキー場・射撃場（ローラースキーコース）

総合管理計画上の方針	・ 田山射撃場は、1987（昭和 62）年に建設された建物であり、建築から 34 年が経過し、2015（平成 27）年にトイレ改修、天井、壁張替等の工事を行っている。 ・ 射撃場は、パラリンピックバイアスロン・ナショナルトレーニングセンター（NTC）競技別強化拠点に指定されている。 ・ 老朽化した箇所の修繕を行いながら継続使用し、大規模改修が必要となった段階で今後の在り方の検討が必要である。
主な大会・合宿実績	・ 県ライフル射撃協会、バイアスロン連合強化練習会場等
現状と課題	・ 2021(令和 3)年 4 月から田山ローラースキーコース（サマーバイアスロン）が開設し、通年利用が可能となった。 ・ パラリンピックバイアスロン競技の NTC 競技別強化拠点にも指定されている。 ・ ホテル、旅館等の数が多く、大会や合宿の規模や利用者のニーズに応じて宿泊施設を選択することができる。

③滝沢市

ア 計画期間：2017 年度～2046 年（30 年間）計画は 5 年ごとに見直しを図るもの

イ 施設改修の方針：竣工 30 年後…大規模改修

60 年後…建替更新を基本とし、長寿命化を図ることによりさ

らに施設の延命化・有効活用（築後 80 年後を建て替え目安とする）を図る。

- ・ すべての施設において大規模改修を実施することは難しく、優先順位をつける必要がある。
- ・ 多目的研修センターにおいては、土砂災害危険区域に囲まれた場所に立地していることから、施設の在り方について検討していく。
- ・ 保有する施設を効率的・効果的に使用するため、県や近隣自治体等との広域的な施設利用が図れる場合は、広域連携の検討を行う。

ウ 評価内容等（総合管理計画より一部抜粋）

No	施設名	建築年度	経過年数 2021 現在	構造	延床面積 (㎡)	評価結果
52	滝沢市東部体育館	1982	39	RC 造	2,661.17	維持 I 現状維持
54	滝沢勤労者体育センター	1986	35	S 造	1,075.20	維持 I 現状維持
57	滝沢市多目的研修センター	1983	38	RC 造	1398.66	維持 I その他
58	滝沢市総合公園体育館	1990	31	RC 造	5,898.28	維持 I 現状維持
59	滝沢市総合公園野球場	1990	31	RC 造	1,482.16	維持 I 現状維持
60	滝沢市総合公園陸上競技場	1990	31	RC 造	92.87	維持 I 現状維持

No	施設名	建築 年度	経過 年数 2021 現在	構造	延床面積 (㎡)	評価結果
61	滝沢市総合公園テニスコート	1990	31	W造	110.57	維持Ⅰ 現状維持

※「維持Ⅰ」は、ハード面・ソフト面の評価結果を4つの類型に分類した中で、それぞれ高い評価であった場合の区分となり、将来の方向性は「存続」となる。

※No. 53 滝沢市東部体育館テニスコート, No. 55 滝沢市営大釜運動場, No. 56 滝沢市営小岩井運動場は、構造物がほとんどないことから総合管理計画の対象外となっている。

エ スポーツツーリズム施設の現状と課題

No. 58 滝沢総合公園体育館

総合管理計画上の 方針	・総合評価では、施設の方向性を「存続」、その内容を「現状維持」とされている。2020年から計画的にボイラーや受電設備、フローリング改修等を実施することとしている。
主な大会・合宿 実績	・Bリーグ公式戦
現状と課題	・プロ仕様の高規格バスケットゴールを設置したが、床仕様が対応していなかったため、床を損傷する問題がある。(2022年に床改修を計画している。) ・新体操(体操)用タンブリングマットを保有している。(広域圏ではほかに県営体育館、盛岡市立高校のみ) ※マットの保管場所は、勤労者体育センター(東北ブロック指導者選手合同合宿を開催) ・暖房は完備されているが、冷房がない。 ・公園敷地に施設が集約され、470台分の駐車場を有しており利便性が高い。 ・近隣に宿泊施設が少ない。

No. 59 滝沢総合公園野球場

総合管理計画上の 方針	・総合評価を「維持Ⅰ」、施設の方向性を「存続」、内容を「現状維持」としている。
主な大会・合宿 実績	・2019年 東北地区大学軟式野球選手権
現状と課題	・観覧席や夜間照明が整備された球場であり、大会や合宿誘致に必要な設備が整っている。 ・雨天時の室内練習場はないが、同一敷地に体育館があり室内トレーニングができる。 ・近隣に宿泊施設が少ない。

④雫石町

ア 計画期間：2016 年度～2026 年（10 年間）

イ 施設改修の方針：竣工 30 年後…大規模改修
60 年後…建替更新

- ・運動公園，野球場は建屋分の面積となる。
- ・W造以外の構造の建物については 2040 年以降に耐用年数が到来する。
- ・日常的な管理，定期点検等を実施し，正常な施設の保全を図る。
- ・修繕にあたっては，利用者の安全を最優先に，職員の業務にも支障をきたさないよう，優先順位をつけて修繕を行う。
- ・建物の点検結果等から予防保全的な修繕を実施し，長寿命化を図る。
- ・施設を用途廃止した場合は，基本的には解体することとし，施設の合理化を図る。

ウ 評価内容等（総管理計画より一部抜粋）

No	施設名	建築 年度	経過 年数 2021 現在	構造	延床面積 (㎡)	評価結果
62	雫石町総合運動公園	1988	33	RC 造	556.76	機能－改善 方針－存続
63	雫石町営体育館	1986	35	SRC 造	5,142.14	機能－改善 方針－存続
64	雫石町営野球場	1983	38	RC 造	579.82	機能－改善 方針－存続
66	雫石町営鶯宿運動場	—	—	—		機能－改善 方針－存続
67	雫石町営御明神運動場	—	—	—		機能－改善 方針－存続
68	雫石町営西山運動場	—	—	—		機能－改善 方針－存続
69	雫石町営ゲートボール場	1994	27	W造	1127.80	機能－改善 方針－存続
70	雫石町営クロスカントリー場	2001	20	—	—	機能－改善 方針－存続
71	旧南畑小学校	1985	36	RC 造	3138.50	機能－改善 方針－存続

※No. 65 雫石町総合運動公園テニスコートは，構造物がほとんどないことから総管理計画の対象外となっている。

エ スポーツツーリズム施設の現状と課題

No. 62 雫石町総合運動公園（陸上競技場）

総合管理計画上の方針	・修繕にあたっては、利用者の安全を最優先に、職員の業務にも支障をきたさないよう、優先順位をつけて修繕を行うこととしており、劣化や経年のレベル、危険度のレベルを考慮し実施することとしている。
主な大会・合宿実績	・2016年 希望郷いわて国体（アーチェリー） ・2018・2019年 日韓交流強化事業アーチェリー大会 ・2019年 全国高等学校アーチェリー競技ブロック対抗戦 ・2019年 第34回全日本医学生アーチェリー大会
現状と課題	・県大会以下の大会開催や県外高校陸上部の夏季合宿などの利用がある。 ・希望郷いわて国体を契機に、アーチェリー場としても活用されている。

No. 63 雫石町営体育館

総合管理計画上の方針	・修繕にあたっては、利用者の安全を最優先に、職員の業務にも支障をきたさないよう、優先順位をつけて修繕を行うこととしており、劣化や経年のレベル、危険度のレベルを考慮し実施することとしている。
主な大会・合宿実績	・2016年 希望郷いわて国体デモンストレーションスポーツ（3B体操）
現状と課題	・総合運動公園体育館は、町民のスポーツ活動の拠点施設として活用されているほか、岩手ビッグブルズ公式戦等の会場にもなっている。 ・町民の利用のほか、県大会以下の大会開催や合宿などの利用がある。

No. 64 雫石町営野球場

総合管理計画上の方針	・修繕にあたっては、利用者の安全を最優先に、職員の業務にも支障をきたさないよう、優先順位をつけて修繕を行うこととしており、劣化や経年のレベル、危険度のレベルを考慮し実施することとしている。
主な大会・合宿実績	・2018年 全国中学生KB野球大会 ・2019年 全国中学生野球大会
現状と課題	・観覧席や夜間照明が整備され、大会や合宿誘致に必要な設備が整っている。 ・雨天時の室内練習場はないが、同一敷地に体育館があり室内トレーニングができる。 ・町民の利用のほか、県大会以下の大会開催の利用がある。

No. 71 旧南畑小学校

総管理計画の方針	・修繕にあたっては、利用者の安全を最優先に、職員の業務にも支障をきたさないよう、優先順位をつけて修繕を行うこととしており、劣化や経年のレベル、危険度のレベルを考慮し実施することとしている。
主な大会・合宿実績	・アーチェリー岩手県代表の合宿 ・トランポリンのバッチテストの実施
現状と課題	・常設のトランポリン施設である。用途廃止した旧南畑小学校の校舎の一部を 2020 年 4 月からエムズスポーツクラブ（株）M・S・C）が賃借し活用している。 ・トランポリンに加え、2022 年にアーチェリー射場を整備する計画となっている。

⑤葛巻町

ア 計画期間：2016 年度～2055 年（40 年間とし、10 年ごとに計画の見直しを行う。）

イ 施設改修の方針：竣工 35 年後…大規模改修，70 年後…建替更新

- ・施設の安全性、機能性、利便性を維持し、公共サービスを提供していくため、保有すべき施設の修繕・更新や時代変化に即応した改善を実施する。
- ・大規模修繕や更新は多大な費用を要することから、日常的な維持管理(点検・修理)を的確に実施し長寿命化を図る。
- ・公共施設については、再編・統廃合により総量を縮減することを目指す、これまで提供してきたサービス機能は、他施設の代替や集約・併設による複合機能化を検討する。
- ・大規模改修の時期を 30 年から 35 年、施設更新を 60 年から 70 年にそれぞれ延伸する。

ウ 評価内容等（総管理計画より一部抜粋）

No	施設名	建築年度	経過年数 2021 現在	構造	延床面積 (㎡)	施設方針・取組内容
72	葛巻町社会体育館	1978	43	SRC 造	2,140.00	長寿命化 2019 年度トイレ改修
73	葛巻町総合運動公園 (グラウンド)	1993	28	—	15,996.00	現状機能を維持 2015 年度改修
74	葛巻町総合運動公園 (野球場)	1993	28	RC 造	118,500.00	現状機能を維持 2021 年度改修
75	葛巻町総合運動公園 (スポーツコート)	1993	28	—	3,624.00	現状機能を維持 2017 年度改修
76	葛巻町総合運動公園 (テニスコート)	1993	28	—	3,298.00	現状機能を維持 2017 年度改修
77	葛巻小学校屋内温水プール	2012	9	WS 造	932.00	現状機能を維持

エ スポーツツーリズム施設の現状と課題

No. 72 葛巻町社会体育館

総合管理計画上の方針	・1978（昭和53）年4月の供用開始から43年が経過。鉄筋コンクリート造で経年劣化によりバルコニーのモルタル剥離や建物内部の一部雨漏りがみられる。経年劣化部分の修繕を適切に行うことで施設の長寿命化を図る。
主な大会・合宿実績	・2016年 希望郷いわて国体デモンストレーションスポーツ（ネオホッケー） ・2018年 Bリーグ公式戦
現状と課題	・町民のスポーツ活動の拠点施設として活用されているほか、岩手ビッグブルズ公式戦等の会場として活用されてきた。 ・建設から43年が経過し、設備等の老朽化が進んでいる。

No. 73 葛巻町総合運動公園（多目的グラウンド）、No. 75 スポーツコート、No. 76 テニスコート

総合管理計画上の方針	・1993（平成5）年4月の供用開始から28年が経過。2015（平成27）年には多目的グラウンドの改修を行い施設機能も向上した。スポーツ振興の拠点として日常的な点検・修繕を行うことで施設の長寿命化を図る。
主な大会・合宿実績	・2019年 ルワンダ陸上選手団事前キャンプ（八幡平市ホストタウン） ・東北福祉大学陸上競技部合宿 ・明治・東京・早稲田大学競走部合同合宿 ・麻布高校サッカー部合宿
現状と課題	・全天候型陸上トラックとロングパイル人工芝仕様のグラウンド、砂入り人工芝テニスコート等、多目的の利用が可能である。 ・公共宿泊施設（グリーンテージくずまき）と隣接していることから、合宿誘致に大きな優位性がある。また、スポーツ合宿時の補助制度、宿泊割引等の制度がある。

No. 74 葛巻町総合運動公園（野球場）

総合管理計画上の方針	・1993（平成5）年4月の供用開始から28年が経過。2015（平成27）年にはLEDスコアボードの改修を行い施設機能も向上した。スポーツ振興の拠点として日常的な点検・修繕を行うことで施設の長寿命化を図る。
主な大会・合宿実績	・2016年 希望郷いわて国体（軟式野球）
現状と課題	・観覧席や夜間照明が整備され、大会や合宿誘致に必要な設備が整っている。 ・雨天時の室内練習場はないが、最寄りの体育館はトレーニング器材を完備しており、室内トレーニングができる。 ・公共宿泊施設（グリーンテージくずまき）と隣接していることから、合宿誘致に大きな優位性がある。また、スポーツ合宿時の補助制度、宿泊割引等の制度がある。

⑥岩手町

ア 計画期間：2017 年度～2026 年（10 年間）

イ 施設改修の方針：竣工 30 年後…大規模改修

60 年後…建替更新 を基本とする。

- ・体育施設全体としては、引き続き利用が見込まれる施設については、適宜改修を行う。老朽化が進んでいる施設については、解体を検討・実施する必要がある。
- ・野球場やテニスコート、スポーツ文化センター等は、引き続き利用が見込まれることから、適宜改修していく必要がある。
- ・ホッケー場は、2019 年から 2021 年にかけて改修を行っており、東京オリンピックの際にアイルランド女子ホッケー代表チームの事前キャンプが実施された。
- ・岩手町体育館は、老朽化が進んでいることから、解体を検討する必要がある。

ウ 評価内容等（総管理計画より一部抜粋）

No	施設名	建築 年度	経過 年数 2021 現在	構造	延床面積 (㎡)	取組内容
78	岩手町体育館（旧体育館）	1978	43	S・W 造	1,104.0	除却予定（2023 年度予定）
79	岩手町スポーツ文化センター（森のアリーナ）	2010	11	RC 造	3,283.00	2022 年度に改修予定
80	岩手町総合運動公園（野球場）	1988	33	—	16,686.0	一部改修が完了（2020 年度トイレ洋式化）
81	岩手町柔剣道場	1985		S 造	634.0	2021 年度に長寿命化改修を実施
82	岩手町総合運動公園（グラウンド・多目的グラウンド）	—	—	—	32,800.00	2015 年度改修
83	岩手町総合運動公園（ホッケー場等）	1993	28	—	9,750.0	2021 年度改修
84	岩手町総合運動公園（テニスコート）	1993	28	—	2,845.0	2025 年度に長寿命化改修を実施予定

エ スポーツツーリズム施設の現状と課題

No. 79 岩手町スポーツ文化センター（森のアリーナ）

総管理計画上の 方針	・引き続き利用が見込まれる施設として、適宜改修を行う。また、避難所に指定されている施設であるため、非常用電源の配置を進める。2022 年度に改修を予定している。
主な大会・合宿 実績	—
現状と課題	・公園敷地に施設が集約され、400 台分の駐車場を有しており利便性が高い。

No. 82 岩手町総合運動公園（総合グラウンド）、No. 83 ホッケー場

総合管理計画上の方針	・総合運動公園のホッケー場は、2019年から2021年にかけて改修（人工芝の張替え、クラブハウスの改築）を実施した。
主な大会・合宿実績	・2013年 全日本マスターズホッケー大会 ・2016年 希望郷いわて国体（ホッケー） ・2021年 東京2020ホッケーアイルラン女子代表事前合宿
現状と課題	・これまでホッケー競技の全国大会等が開催されてきた。 ・施設整備と競技力向上がうまく連動し、日本代表選手を数多く輩出している。 ・運動公園に、体育館、野球場、グラウンド、ホッケー場が集約されており、様々な大会やイベントに対応できる。

⑦紫波町

ア 計画期間：2016年度～2035年（20年間）

イ 施設改修の方針：竣工30年後…大規模改修

60年後…建替更新 を基本とする。

- ・計画的なメンテナンスを行いつつ、施設の改修に関し民間活用等の可能性を探りながら検討を進める。
- ・広域的な施設活用の観点から、他自治体と連携した施設の利用や共同運用の可能性について模索する。

ウ 評価内容等（総合管理計画より一部抜粋）

No	施設名	建築年度	経過年数 2021 現在	構造	延床面積 (㎡)	施設機能・保全サイクルの方向性
85	紫波町総合体育館	1980	41	RC 造	5,128.99	施設機能-維持 保全サイクル-検討
86	紫波町多目的スポーツ施設(サン・ビレッジ)	1999	22	RC 造	3,024.60	施設機能-維持 保全サイクル-継続
87	紫波運動公園（野球場）	1975	46	RC 造	110.00	施設機能-維持 保全サイクル-検討
88	紫波運動公園（陸上競技場）	1978	43	—	24,980.00	施設機能-維持 保全サイクル-検討

エ スポーツツーリズム施設の現状と課題

No. 85 紫波町総合体育館

総合管理計画上の方針	・総合管理計画では、施設としての機能は維持することとし、その方向性は「施設機能は維持するが、今後の利用状況や老朽化の進行度合いによって建て替え、集約または除却などの検討を要する。」と評価している。
主な大会・合宿実績	・全国バレーボール高等学校選手権大会岩手県予選 ・各種県大会
現状と課題	・町民のスポーツ活動の拠点施設として活用されているほか、バレーボール等の県大会等が開催されている。 ・建設から 41 年が経過し、設備等の老朽化が進んでいる。

No. 86 紫波町多目的スポーツ施設（サン・ビレッジ紫波）

総合管理計画上の方針	・総合管理計画では、施設としての機能は維持することとし、その方向性は「施設改修等を行い、現施設を継続する。」と評価している。
主な大会・合宿実績	・各種県大会
現状と課題	・矢巾町と紫波町では文化施設と体育施設の相互連協定が結ばれており、矢巾町民も紫波町民と同じ料金で施設利用ができる。 ・岩手県フットボールセンターやオガールベースと隣接している。 ・紫波中央駅から徒歩 6 分に位置し、交通の利便性が良い。

⑧矢巾町

ア 計画期間：2016 年度～2025 年（10 年間）

イ 施設改修の方針：対症療法的な修繕・改修だけでなく、不具合を未然に防ぐ予防的な修繕、改修を取り入れていく。

- ・公共施設としてハコモノ資産が新たに必要となる際は、既存施設や土地の有効活用を検討し、新設や新規の土地取得は原則行わない。
- ・既存施設の統廃合・複合化など、総面積の縮減や資産全体の活用度が向上する場合には、新設を有力な選択肢として検討する。

ウ 評価内容等（総合管理計画より一部抜粋）

No	施設名	建築年度	経過年数 2021 現在	構造	延床面積 (㎡)	施設方針
90	矢巾町民総合体育館	1978	43	RC 造	3,629.28	現状機能を維持 長寿命化を図る 耐用年数 47 年
93	矢巾町岩手ビッグブルズアリーナ	1977	44	RC 造	1067.71	現状機能を維持 予防保全を行う 耐用年数 47 年

※No. 91 矢巾町総合グラウンド、No. 92 矢巾町屋外運動場は、構造物がほとんどないことから総合管理計画の対象外となっている。

エ スポーツツーリズム施設の現状と課題

No. 90 矢巾町民総合体育館

総合管理計画上の 方針	・重要施設であり適切に維持管理を行う必要がある。また、適切な維持管理により長寿命化を図り、現状機能を維持する。 ・施設や設備が古くなり対応が必要となっている（冷房設備の設置等）
主な大会・合宿 実績	・全国バレーボール高等学校選手権大会岩手県予選 ・不来方高校ハンドボール部 GW 強化大会 ・岩手県民体育大会空手道競技
現状と課題	・町民のスポーツ活動の拠点施設として様々な競技で活用されているが、建設から 43 年が経過し、設備等の老朽化が進んでいる。

No. 93 岩手ビッグブルズアリーナ

総合管理計画上の 方針	・地元企業から寄贈を受けた施設である。 ・適切な維持管理により長寿命化を図り、現状機能を維持する。
主な大会・合宿 実績	・岩手ビッグブルズ専用トレーニング施設であり、大会・合宿等の実績はない。
現状と課題	・「岩手ビッグブルズ」の練習用体育館として 2021 年 1 月に開設され、パフォーマンス向上に大きく貢献している。 ・空調設備がなく、夏季及び冬季の利用環境の向上が課題となっている。

2 県が盛岡広域圏に保有する大規模・高規格なスポーツ施設

県が盛岡広域圏に保有する大規模・高規格なスポーツ施設は、長年にわたって県全体のスポーツ振興の拠点施設として活用され、その機能の継続は盛岡広域圏におけるストック適正化を進める上での大前提となっている。

県においては、市町と同様に個別施設計画を策定しているほか、スポーツ施設については「県営スポーツ施設のあり方に関する懇談会」においても議論がなされている。

岩手県文化スポーツ部所管公共施設個別施設計画の中から、県が盛岡広域圏に保有する大規模・高規格なスポーツ施設を抜粋し、その概要を次のとおりまとめた。

岩手県文化スポーツ部所管公共施設個別施設計画の概要

ア 計画期間：2020年度～2050年（30年間）、設備の修繕・更新等の計画は2024年度まで

イ 評価内容等（総合管理計画より一部抜粋）

建物性能老朽化の状況利用状況を勘案した1次評価として「建物性能が高く、利用状況も好調な施設を『維持管理』」、「建物性能は低く、利用状況は好調な施設を『修繕改修』」、「建物性能は高く、利用状況が低調な施設を『転用・複合化』」、「建物性能は低く、利用状況が低調な施設を『用途廃止』」と評価した。

No	施設名	建築 年度	経過 年数 2021 現在	構造	延床面積 (㎡)	方向性 (1次評価)
94	県営体育館	1967	54	RC造	6,343.37	修繕・改修
95	勤労身体障がい者体育館 (パラリーナ)	1977	44	RC造	1,269.50	修繕・改修
100	県営野球場	1969	52	RC造	6,058.04	転用・複合化 (南公園野球場を整備)
101	県営屋内温水プール	1993	28	RC造	6,115.85	修繕・改修 (維持管理)
102	県営武道館	1986	35	RC造	1,086.00	修繕・改修 (維持管理)
103	県営運動公園(陸上競技場)	1966	55	RC造		修繕・改修
104	県営運動公園(グラウンド) サッカー・ラグビー場	1968	53	S造		修繕・改修
105	県営運動公園(野球場)	1969	52	—		—
106	県営運動公園(テニスコート)	1969	54	—		—
107	県営運動公園(クライミング 競技場)	1998	23	S造	194.87	維持管理
108	県営スケート場	1972	49	RC造		修繕・改修
109	御所湖広域公園漕艇場(艇庫)	1983	38	S造	1,224.70	修繕・改修

※No. 96～No. 99 ふれあいランド、No. 111 岩手県産業文化センターは、スポーツ部局所管外施設のため上記表から除いている。

ウ 施設ごとの評価

No. 94 県営体育館

総合管理計画上の方針	・県営よりも充実した機能を備えた市町村営施設が増えてきた現状であるが、体操競技会の男女種目を一体で実施できる県内唯一の体育館でもあり、担う役割や今後の市町村施設の改修状況等を踏まえた検討が必要となる。 ・小規模の大会や一般利用などでの利用率が極めて高く、当面、施設設備の状況を考慮しながら、適時、改修等を行い、現状を維持することが望ましい。
主な大会・合宿実績	・全国ブロック選抜U-12 体操競技選手権東北予選 ※大規模なイベントが重複した際の高機能代替施設として活用された。（2017 年デビスカップと重複の際にBリーグ代替開催）

No. 95 勤労身体障がい者体育館（パラリーナ）

総合管理計画上の方針	・障がい者の団体利用数及び利用者数は、安定的に推移しており、県内の障がい者スポーツ振興のためにも長期的に県営の施設として維持することが望ましい。 ・施設設備の状況等を考慮しながら、適時、改修等を行っていく。
主な大会・合宿実績	・各種障がい者スポーツ大会 ・2018 年 第1回コンバインドジャパンカップボルダリング会場 ※県営運動公園に隣接していることから、大規模大会の連携施設として活用された。

No. 100 県営野球場

総合管理計画上の方針	・岩手県営野球場は、1970（昭和 45）年に整備され、1983（昭和 58）年及び1993（平成 5）年に大規模な改修を行っているが、球場及びスタンド下に設置される屋内練習場（ブルペン等）は経年により老朽化が著しく進行しており、早急に対策を講じる必要がある。盛岡市営野球場は、1938（昭和 13）年に建設され、1982（昭和 57）年から1985（昭和 60）年にかけて大規模な改修を行っているが、改修後約 30 年が経過し、老朽化が著しく設備の機能や安全性の水準が低い施設となっており、新野球場の整備が急務となっている。このことを受け岩手県と盛岡市が共同で「盛岡南公園野球場（仮称）」の整備を進めており、2023（令和 5）年 4 月の供用開始を目指している。
主な大会・合宿実績	・2012 年 プロ野球オールスターゲーム ・2019 年 プロ野球公式戦（毎年） ・毎年 全国高等学校等野球選手権岩手大会

No. 101 県営屋内温水プール

総合管理計画上の方針	・日本水泳連盟 50m公認プールのほか、ファミリープール、トレーニングルームを有している施設であり、住民のレクリエーション等での利用のほか、大会や合宿などにも利用されている状況を踏まえると、長期的に県営施設として維持していくことが望ましい。 ・施設設備の状況等を考慮しながら、適時、改修等を行っていく。
主な大会・合宿実績	・県外大学の水泳部による合宿

No. 102 県営武道館

総合管理計画上の方針	・大道場を有する県内唯一の大規模な武道専用施設であり、全国規模の競技会・大会を開催している状況を踏まえると、長期的に県営の施設として維持していくことが望ましい。 ・施設整備の状況等を考慮しながら、適時、改修等を行っていく。
主な大会・合宿実績	・2016年 希望郷いわて国体（空手道） ・2019年 東北少年少女空手道選手権大会 ・毎年 東北弓道選手権大会

No. 103 県営運動公園（陸上競技場）

総合管理計画上の方針	・長期的な観点から、インターハイ、国体等の全国規模の競技大会・大会開催の見通し等も勘案し、改修、改築等について改めて検討することが望ましい。陸上競技場のスタンドが令和16年（2034年）度に耐用年数を迎えるために、劣化度調査等の結果を踏まえる必要がある。
主な大会・合宿実績	・岩手県高校総合体育大会開会式 ・2016年 サッカー天皇杯 ・2021年 東京2020ルワンダ陸上事前キャンプ ※第2種公認の競技場であり、全国規模の陸上競技会を開催できない。（県内の第1種公認競技場は北上陸上競技場のみ）

No. 104 県営運動公園（サッカー・ラグビー場）

総合管理計画上の方針	・インターハイや国体など、全国規模の競技会・大会で使用している状況を踏まえると、長期的に県営の施設として維持していくことが望ましい。 ・施設設備の状況を考慮しながら、適時、改修等を行っていく必要があるが、グラウンド2面のうち、1面を人工芝にしたことにより利用者が大幅に増えている状況を踏まえると、残る1面についてもスポーツ健康科学センター（多目的屋内練習施設）の整備のあり方に応じ、人工芝への改修も検討していくことが望ましい。
主な大会・合宿実績	・2016年 希望郷いわて国体（サッカー（成年男子・女子）） ・2016年 希望郷いわて大会（グラウンドソフトボール（身））

No. 105 県営運動公園（野球場）

総合管理計画上の方針	・現状において、朝野球や軟式野球大会など一定のニーズがあることから、当面、施設設備の状況等を考慮しながら、適時、改修等を行い、現状を維持することが望ましい。
主な大会・合宿実績	・各種県大会（軟式）

No. 106 県営運動公園（テニスコート）

総合管理計画上の方針	・公共施設等総合管理計画に位置づけられた施設ではないが、2017（平成 29）年に作成した「県営スポーツ施設のあり方について」では、小規模の大会や一般利用などの利用率が極めて高いことから、現状を維持しつつ、大規模な改修が必要となった際には、あり方について改めて検討するとしている。
主な大会・合宿実績	・各種県大会

No. 107 県営運動公園（スポーツクライミング競技場）

総合管理計画上の方針	・リード、スピード、ボルダリングの 3 施設を備える日本有数のスポーツクライミングの拠点となっており、全国的にも高い評価を受けている。 ・国際大会などの大規模大会が開催できる施設であることから、長期的に県営の施設として維持していくことが望ましい。
主な大会・合宿実績	・コンバインドジャパンカップ（第 1 回、4 回大会） ・リードジャパンカップ 2020 ・2021 年 東京 2020 クライミングカナダ事前キャンプ ※全国的には、愛媛（西条）、鳥取（倉吉）、東京（葛飾）に同等の施設がある。

No. 108 県営スケート場

総合管理計画上の方針	・400m のスピードスケートリンクを有する県内唯一の施設であり、長期的に県営の施設として維持することが望ましい。 ・概ね 10 年周期で開催されるインターハイや国体など、全国規模の競技会・大会で使用している状況を踏まえ、適時、改修等を行っていく必要がある。
主な大会・合宿実績	・2016 年 希望郷いわて国体（スケート） ・毎年 全日本選抜スピードスケート競技大会（旧大会名称：ジャパンカップスピードスケート競技会）

No. 109 御所湖広域公園漕艇場

総合管理計画上の方針	・県内に 2 か所の日本ボート協会公認 B 級ボートコースの漕艇場の一つであり、国体など全国規模の競技会・大会で使用している状況を踏まえると、長期的に県営として維持していくことが望ましい。 ・施設設備の状況等を考慮しながら、適時、改修等を行っていく。
主な大会・合宿実績	・2016 年 希望郷いわて国体（カヌー） ・2021 年 東京 2020 カヌー日本代表合宿 ※御所湖を拠点とする不来方高校カヌー部は、国体において安定的に好成績を挙げている。

3 特に公共性の高い民間スポーツ施設

盛岡広域圏には、各市町と緊密な関係を構築し、公共施設と同等あるいはそれ以上の役割を担う民間スポーツ施設が存在する。これらの民間スポーツ施設の特徴や実績等について、次のとおりまとめた。

No. 112 紫波自転車競技場

建築年度	1998	経過年数 2021 現在	23	構造	-	延床面積 (㎡)	21,113.00
施設の特徴等		・県内唯一の自転車競技場であり、県内外から利用があるほか、プロ競輪選手の練習場としても活用されている。 ・総合運動公園内の自転車競技場管理棟は、合宿等の宿泊利用も可能となっている。					
主な大会・合宿 実績		・2001 年 全日本自転車競技選手権大会 ・2016 年 希望郷いわて国体（自転車）					

No. 113 オガールアリーナ

建築年度	2014	経過年数 2021 現在	7	構造	-	延床面積 (㎡)	932.67
施設の特徴等		・国内唯一のバレーボール専用施設であり、国際試合等で正式採用されている床材（タラフレックス）を使用している。 ・トレーニングジムが近接しており、トップチームの合宿に対応できる設備が整っている。 ・宿泊施設が併設されており、合宿の利便性が高い施設となっている。 ・バレーボールコートが1面のみの施設であり、大会等開催には近隣施設との連携が必要となる。					
主な大会・合宿 実績		・2017 年 全日本男子バレーボール合宿 ・2018 年 カナダバレー女子代表事前合宿 ・2021 年 東京 2020 カナダバレー男子、シッティングバレー女子代表事前合宿 ・国内プロチーム、アマチュアチーム合宿多数					

No. 114 岩手県フットボールセンター

建築年度	2011	経過年数 2021 現在	10	構造	-	延床面積 (㎡)	10,621.00
施設の特徴等		・J F A 日本サッカー協会認定の人工芝サッカー専用グラウンドとして2011年に開設された。 ・紫波中央駅から徒歩6分に位置し、交通の利便性が良い。					
主な大会・合宿 実績		・東北社会人サッカーリーグ ・高円宮杯 J F A プリンスリーグ東北 ・各種東北大会、岩手県大会					

No. 115 ウェルベース矢巾

建築年度	2019	経過年数 2021 現在	2	構造	S 造	延床面積 (㎡)	317.39
施設の特徴等	・岩手医科大学附属病院の敷地内に健康と運動を結び付けた同町の健康増進施設（メディカルフィットネスジム）として 2020 年 4 月に開設された。 ・エビデンスに基づきスポーツと健康を融合させる取組は、全国的にも注目度が高い。						
主な大会・合宿 実績	・大会・合宿等を実施する施設ではない。						

No. 116 安比高原テニスクラブ

建築年度	-	経過年数 2021 現在	-	構造	-	延床面積 (㎡)	-
施設の特徴等	・安比高原にあるテニスコート。国内リゾート最大級の 18 面のコート进行有する。コートサーフェイスは「デコターフ」。						
主な大会・合宿 実績	・2016 年 希望郷いわて国体（テニス） ・各種東北大会，オープン大会						

第4章 スポーツツーリズム施設の望ましい姿

盛岡広域圏にある大規模・高規格スポーツ施設は、圏域のみならず県全体のスポーツ推進に大きな役割を果たしてきた。一巡目岩手国体が開催された1970年代から約30年間は、県営施設への依存度が高かったが、1999年岩手インターハイや2016希望郷いわて国体・いわて大会などの大規模大会をきっかけに、各市町営スポーツ施設の新設や大規模改修がなされ今日に至っている。

これらの大規模・高規格スポーツ施設は、地域の競技力向上や競技の普及・拡大に貢献するだけでなく、大会・合宿誘致あるいはプロスポーツとの連携を通じたスポーツツーリズムの推進に大きな役割を果たしている。

国（スポーツ庁及び経済産業省）では「スタジアム・アリーナ改革指針」（2018年）を策定するなど、「観るスポーツ」を目的とする施設の整備を推進している。様々なスポーツイベントから選ばれる施設であり続けるためには、これまで以上に厳しくなっていく都市間競争に打ち勝たなければならない。

そのためには、全国でも例の少ない行政主導のコミッションの優位性を最大限に生かし、効率的な施設整備を継続していくことが求められる。

本章では対象施設をスポーツツーリズム施設に絞り込み、これまでの成果と課題を整理した上で、賑わいの創出と魅力の発信が期待できるスポーツツーリズム施設の望ましい姿を共有する。

1 スポーツ施設を活用したスポーツツーリズムの成果と課題

指針策定の趣旨を踏まえ、スポーツ施設を活用して取り組むスポーツツーリズムに限定して成果と課題を整理する。

(1) 全国大会等の大規模大会誘致・開催

【成果】

- ①経済波及効果
- ②地域の知名度向上

参考数値ではあるが、大規模大会の成果として2016年に盛岡タカヤアリーナ（当時はアイスアリーナ）で開催されたNHK杯フィギュアスペシャルエキシビションの経済波及効果は約2億円、2016希望郷いわて国体・いわて大会（盛岡市開催分のみ）は約93億円、さらに2018年のテニス男子国別対抗戦デビスカップ「日本×イタリア」は約1.7億円と試算されている。データはないが、盛岡市以外で開催された大会でも、運輸・交通、宿泊、食や買い物を含む観光などを通じて大きな経済波及効果がもたらされていることは間違いない。

大会の様子が全国や世界に配信されることにより、知名度の向上とシビックプライドの醸成が図られた。さらに、開催により積み上げた実績やノウハウ、築いてきた人脈はレガシーとして未来に引き継がれてさらなる成果を生み出していく。

【課題】

- ①高度化する競技施設基準や競技団体からの要求への対応
- ②誘致のための情報収集や準備体制の整備
- ③大規模大会により制限される住民利用機会の確保

(2) 合宿の誘致・受入れ

【成果】

- ①経済波及効果
- ②競技力の向上に伴う更なる合宿誘致（練習相手の確保等）
- ③地域の魅力発信

各市町では、それぞれ施設の特性を生かした合宿の誘致・受入れを行い、競技力の向上や競技の普及・拡大はもとより、地域の賑わいの創出と魅力の発信に大きな成果を挙げた。特に、紫波町のバレーボール、岩手町のホッケー、八幡平市のラグビーは、聖地と呼べるほど地域のシンボルになっている。

また、東京 2020 ホストタウン事前キャンプとしての各国代表の合宿受入れは、マスコミ報道やSNS等を通じて地域の魅力を発信することができ、シビックプライドの醸成にも大きく貢献をした。

【課題】

- ①合宿ニーズの把握及びニーズに合致した受入れ施設・設備のさらなる充実
- ②合宿により制限される住民利用機会の確保

(3) 地元プロスポーツチームとの連携

【成果】

- ①地域の一体感やシビックプライドの醸成への貢献
- ②ホームゲーム開催による地域の盛り上がり

地元プロスポーツチームは地域共有の貴重な財産であり、地域の一体感やシビックプライドの醸成に大きく貢献してきた。関係自治体は本拠地施設の改修や試合会場・トレーニング施設の優先的使用、広報活動への協力などの連携・支援を行い、チーム側でも様々な地域貢献活動や青少年への指導を通じて地域への定着に努力している。

【課題】

- ①財政基盤の強化
- ②昇格の基準に合致した競技施設の確保

2 スポーツツーリズム施設に求められる機能

スポーツ庁ではガイドラインの参考資料として、「ストック適正化における大規模スポーツ施設の基本的方向性」を示し、その中でⅢ整備・運用検討のポイント ii 施設種別ごとの主要な検討項目を掲げている。大規模スポーツ施設が対象であり、直接該当する施設は少ないが、参考のため一部を引用する。

● 屋外施設（陸上競技場，球技場，野球場）

公共サービスの別		大規模大会機能	スポーツ拠点機能／地域活性化機能
主な検討項目	芝	・トッププレイヤーが競技するのに適した芝種，芝面積を競技に応じて選択する。 ・稼働可能日数，芝の養生に要する日数を把握する。 ・プロの試合などで求められる高い仕様と品質を維持・確保できる専門的な技術スタッフを配置する。 ・園内の他施設と一体的に管理できる体制を構築し，張り替え等含めた中長期的な計画を検討し維持管理費用を把握する。	・利用者ヒアリング等によるニーズから芝面積を設定する。 ・多様な利用を想定し，メンテナンスコストの圧縮が可能な人工芝仕様の採用を検討する。 ・施設内や自治体内の他施設と芝仕様や管理者を統一し，管理コストを圧縮する。 ・多様な利用者に応じて芝だけでなくサーフェス仕様についても検討し，アプローチや屋根付き待機場所についても検討する。
	観客席	・誘致する大会や工業の基準を目安とした観客席数とする。 ・多様な観客の観る権利が担保されるよう，座席仕様・視線計画・動線を含めたユニバーサルデザインを取り入れる。 ・観戦環境を充実化し，体験価値向上による収益性の向上を検討する。（VIP，スポンサー，シーズンシート，団体，家族，友人等） ・アクセス動線を含め屋根の設置を検討する。	・メインスタンド以外は芝生整備とし，柔軟な利活用を促す。 ・大会等開催時には適切な席数を仮設設置する。 ・誰もが利用できることを基本とし，座席仕様・視線計画・動線を含めたユニバーサルデザインを取り入れる。
	照明設備	・大会や興行のニーズに応じた設備のスペックを検討する。	・夜間帯の利用ニーズを把握し，常設／仮設を検討する。 ・イベント時等に設備の持ち込みに受入可能な整備を検討する。 ・LEDの採用などメンテナンスコストの低減に配慮する。
	モニター・音響等の大会設備	・大会や興行のニーズに応じた設備のスペックを把握し，常設／仮設を検討する。 ・放送設備，ビデオ判定設備等の常設／仮設を検討する。 ・標示などの多言語対応，音声誘導等の情報アクセシビリティ関連については常設設置を検討する。	・必要時のみ仮設設置する。 ・イベント時等に設備の持ち込みに受入可能な整備を検討する。 ・標示などの多言語対応，音声誘導等の情報アクセシビリティ関連については常設設置を検討する。
	特別室等の諸室	・特別室は，誘致する大会や興行のVIP対応の必要性，ホスピタリティ事業の可能性等を整理し，面積や仕様を検討する。 ・テナント店舗，ビジネスラウンジ，ホスピタリティ空間等の民間事業の導入を検討する。	・特別室等は，必要時のみ仮設設置する。 ・既存施設を活用する場合の改修は最小限に留め，多機能化を検討する。
	その他	・大会関連商品，ケータリング等物販スペースを設置する。 ・スタンド下の空間活用を検討する。 ・アクセシビリティ対応として，カメラ用レールなどグラウンドに突出するものはあらかじめトレンチを設けるなどグラウンド内移動に配慮する。	・ロビーや待合空間等の多機能活用を検討する。 ・多様な利用を想定したフロア計画においては，出入口の段差に配慮しアクセシビリティを確保する。

● 体育館

公共サービスの別		大規模大会機能	スポーツ拠点機能／地域活性化機能
主な検討項目	フロア	・観戦環境を考慮したフロアサイズを検討する。 ・誘致する大会や興行に適した床材を検討する（競技専用等） ・大型搬入車両の乗り込みを想定するとともに、必要に応じて可動床、可動畳などの大型設備導入を検討する	・稼働想定を考慮したフロアサイズを検討する ・多様な利用を想定した床材を検討する（平土間等） ・メンテナンスコストを考慮した床材を検討する ・稼働率向上のため、フロアの分割活用等を検討する ・車椅子利用などに対応できるフロア材を検討する。フローリングフロアの場合でも表面塗布材の検討をおこなう。
	観客席	・誘致する大会や興行の基準を目安とした観客席数とし、観客席レイアウト・スタンド勾配を検討する ・多様な観客の観る権利が担保されるよう、座席仕様・視線計画・動線を含めたユニバーサルデザインを取り入れる ・観戦環境を充実化し、体験価値向上による収益性の向上を検討する（VIP、スポンサー、シーズンシート、団体、家族、友人等）	・大会等開催時には適切な席数を仮設設置する。 ・誰もが利用できることを基本とし、座席仕様・視線計画・動線を含めたユニバーサルデザインを取り入れる。 ・ロールバックチェア等の可変性の高い仕様とし、フロアの有効活用を検討する。 ・利用者の休憩や荷物置き場等の柔軟な利用を検討する。
	照明設備	・大会や興行での演出ニーズに応じた設備のスペックを検討する。	・日常利用を標準とし、大会時は必要に応じて仮設で対応する ・LEDの採用などメンテナンスコストの低減に配慮する。
	モニター・音響等の大会設備	・大会や興行のニーズに応じた設備のスペックを把握し、常設／仮設を検討する。 ・放送設備、ビデオ判定設備等の常設／仮設を検討する ・標示などの多言語対応、音声誘導等の情報アクセシビリティ関連については常設設置を検討する。	・必要時のみ仮設設置する。 ・イベント時等に設備の持ち込みに受入可能な整備を検討する。 ・標示などの多言語対応、音声誘導等の情報アクセシビリティ関連については常設設置を検討する。
	特別室等の諸室	・特別室は、誘致する大会や興行のVIP対応の必要性、ホスピタリティ事業の可能性等を整理し、面積や仕様を検討する。 ・テナント店舗、ビジネスラウンジ、ホスピタリティ空間等の民間事業の導入を検討する。	・特別室等は、必要時のみ仮設設置する ・既存施設を活用する場合の改修は最小限に留め、多機能化を検討する。 ・多様な利用者を想定し、更衣室・シャワーについては十分な余裕をもたせベンチ配置なども検討する。
	その他	・大会関連商品、ケータリング等物販スペースを設置する。 ・安全性に配慮した観客動線や滞留空間を検討する。	・ロビーや待合空間等の多機能活用を検討する ・多様な利用を想定したフロア計画においては、出入口の段差に配慮しアクセシビリティを確保する。

次に、盛岡広域圏の現状を踏まえ、賑わいの創出や地域の魅力発信への貢献が期待できるスポーツツーリズム施設に求められる機能を整理する。

		求められる基本的な施設機能	満たされていることが望ましい機能・条件
全国大会等の大規模大会誘致・開催	施設整備	・ 諸室（アップスペース等） ・ 個席含む観客席 ・ 空調設備 ・ 駐車場	・ 観る環境の充実（大型ビジョン、Wi-Fi など）
	その他	・ 連携可能な近隣施設 ・ 医療サポート体制 ・ 必要十分な観客輸送手段	・ 競技団体のサポート体制 ・ 当該競技に対する関心 ・ 大会関連情報の発信
合宿誘致・受入れ	施設整備	・ 複数のチームが同時に利用可能な競技・練習スペース ・ ウェイトトレーニング機器等 ・ 諸室（アップスペース等） ・ 空調設備	
	その他	・ 医療サポート体制	・ 連携可能な近隣施設 ・ 運輸・宿泊に係る補助制度 ・ レベルに応じた練習相手 ・ 医科学的サポート機能 ・ 魅力的な観光スポット
地元プロスポーツチームとの連携	施設整備	・ プロリーグ規格に適合した躯体設備 ・ 複数のチームが同時に利用可能な競技・練習スペース ・ ウェイトトレーニング機器等 ・ 諸室（アップスペース等） ・ 空調設備 ・ スクールやアカデミーの練習会場の確保	・ 観る環境の充実（大型ビジョン、Wi-Fi など）
	その他	・ 観客受入れ可能数に対応した駐車場 ・ 体育協会自主事業との連携	・ プロスポーツに関する関心 ・ プロスポーツ関連情報の発信

3 広域的視点に立ったスポーツツーリズム施設の方向性

競技施設・設備の高規格化が急速に進む中で、選ばれる地域、施設であり続けるためには、当該施設単独で今後の方向性を考えるのではなく、広域的視点に立って捉えることにより新たな価値が生まれ、優位性が高まる。

そのためには、広域的な視点としての「施設利用」及び「施設整備」をいかに共有することができるかを考える必要がある。ここからは次の4つに分類して把握し、今後望まれる方向性を明らかにする。

【大規模大会誘致・開催】

中心となる施設と補完施設があることで大会誘致の優位性が高まるため、各市町が保有している施設や設備を広域圏が一体となって補完・連携し合うことが求められる。例えば、1つの大会に対して複数の市町の体育館を使用し、サブアリーナの機能を補完するなどが考えられる。

【合宿の誘致・受入れ】

近隣に同規模の施設があることで合宿誘致・受入れの優位性が高まる。また、宿泊施設が近くにあることも優位性を高める。もし宿泊施設が当該市町にない場合でも、隣の市町の宿泊施設で機能を補完することにより、合宿を成立させることができる場合もある。

【地元プロスポーツとの連携】

プロスポーツ団体としては、昇格の基準に合致した施設の確保や、専用のトレーニング施設の確保が重要である。各市町の施設は夜間・土日の利用が混雑しており、特定の施設に対して新たに継続した利用時間を確保することが難しい場合、広域圏の複数の施設の利用可能時間を調整して活用することも考えられる。

【希少施設】

広域圏には飛び込み台が設置されている盛岡市立総合プール、通年利用できる盛岡市アイスリンク、松尾相撲場、田山スキー場、トランポリン競技の設備がある旧南畑小学校など、希少施設が多く存在する。これらの希少性を生かしてスポーツツーリズムを推進することができる。

地域間競争で優位性を確保するためには、このような広域的かつ複層的な価値観を共有することが重要である。そして、緊急の安全確保などの特殊なケースを除き、総合管理計画に盛り込まれない改修事業が実施されることはないため、施設の適性を踏まえた広域的かつ長期的な見通しを立てて総合管理計画に反映させる必要がある。

また、施設を保有する市町としては、スポーツツーリズム施設として活用することと住民の利用機会の確保との両立に配慮しなければならない。

4 スポーツツーリズム施設の望ましい姿

各市町はもとより県においても、厳しい財政環境の中でいかにして現在の機能水準を維持するかに腐心している実情がある。このような状況を踏まえ、本項においてはできるだけ現実的な提言に努めることとし、今後着実に実績を重ねていくことで中・長期的な視点での理想の姿が明らかになっていくことを望みたい。

(1) 各市町が保有するスポーツ施設

① 盛岡市

No.1 盛岡市総合アリーナ（盛岡タカヤアリーナ）

ツーリズムの適性	1 大規模大会 2 合宿 3 プロスポーツとの連携 4 希少施設
今後望まれる機能	・暖房機能の高規格化（大・合・プ） ・音響設備の高規格化，大型ビジョンの新設（大・プ） ・Wi-Fi 等情報環境の整備（大・合・プ） ・サブアリーナの増設（大・プ） ・ビデオ判定システムの設置（大・プ） ・多言語対応，音声誘導等のアクセシビリティ設備（大・合） ・車いすに利用対応した表面塗布材の導入（大・合）
もたらされる効果	・大規模大会誘致の優位性の確保（大） ・障がい者スポーツ大会誘致の優位性の確保（大） ・大会運営環境の向上（大） ・合宿誘致の優位性の確保（合） ・Bリーグホームアリーナ水準への対応（プ） ・観戦環境の快適化（大・合・プ） ・通信環境の快適化（大・合・プ）
その他望まれる事項	・同種施設との連携・補完体制の整備（施設連携による大規模大会の誘致）

No.2 盛岡市立総合プール

ツーリズムの適性	1 大規模大会 2 合宿 3 プロスポーツとの連携 4 希少施設
今後望まれる機能	・公認スタート台の設置（大） ・飛込みプールへの観客席の設置（大・希） ・フルカラービジョンの設置（大） ・Wi-Fi 等情報環境の整備（大・合） ・多言語対応，音声誘導等のアクセシビリティ設備（大・合）
もたらされる効果	・全国大会等で求められる施設水準への対応（大） ・大規模大会誘致の優位性の確保（大・希） ・障がい者スポーツ大会誘致の優位性の確保（大） ・大会運営環境の向上（大） ・合宿誘致の優位性の確保（合） ・通信環境の快適化（大・合）
その他望まれる事項	・特になし

No. 4 盛岡市アイスリンク（みちのくコカ・コーラボトリングリンク）

ツーリズムの適性	1 大規模大会 2 合宿 3 プロスポーツとの連携 4 希少施設
今後望まれる機能	・カーリングシートの増設（大会等4シートが標準）（大・合・希） ・観客席の増設（大・合） ・諸室の拡充（大・合） ・多言語対応，音声誘導等のアクセシビリティ設備（大・合・希）
もたらされる効果	・大会誘致の優位性の確保（大・希） ・障がい者スポーツ大会誘致の優位性の確保（大・希） ・大会運営環境の向上（大） ・合宿誘致の優位性の確保（合）
その他望まれる事項	・特になし

No. 19 盛岡南公園球技場（いわぎんスタジアム）

ツーリズムの適性	1 大規模大会 2 合宿 3 プロスポーツとの連携 4 希少施設
今後望まれる機能	・音響設備の高規格化，大型ビジョンの新設（大・プ） ・Wi-Fi 等情報環境の整備（大・合・プ） ・多言語対応，音声誘導等のアクセシビリティ設備（大・合） ・複数の天然芝グラウンドの有効活用（プ） ・観客席の増設（大・プ）
もたらされる効果	・大規模大会誘致の優位性の確保（大） ・障がい者スポーツ大会誘致の優位性の確保（大） ・合宿誘致の優位性の確保（合） ・トップチームが求める合宿水準への対応（合） ・大会参加者，観客の利便性確保（大・プ） ・通信環境の快適化（大・合・プ） ・Jリーグホームスタジアム基準への対応（プ）
その他望まれる事項	・同種施設との連携・補完体制の整備（施設連携による大規模大会の誘致） ・広域スポーツ施設間でのフリーウェイト等トレーニング機器の共同利用の体制整備

No. 23 盛岡市立太田テニスコート

ツーリズムの適性	1 大規模大会 2 合宿 3 プロスポーツとの連携 4 希少施設
今後望まれる機能	・Wi-Fi 等情報環境の整備（大・合） ・屋内テニスコートの増設（大・合） ・LED照明の導入（大・合） ・観客席の増設（大・合） ・多言語対応，音声誘導等のアクセシビリティ設備（大・合）
もたらされる効果	・大規模大会誘致の優位性の確保（大） ・障がい者スポーツ大会誘致の優位性の確保（大） ・合宿誘致の優位性の確保（合） ・通信環境の快適化（大・合）
その他望まれる事項	・盛岡駅から施設への交通アクセス環境の充実

No. - 盛岡南公園野球場（仮称）

ツーリズムの適性	1 大規模大会 2 合宿 3 プロスポーツとの連携 4 希少施設
今後望まれる機能	—
もたらされる効果	—
その他望まれる事項	・岩手飯岡駅～スタジアム間の都市装飾 ・スタジアムへの交通渋滞対策

②八幡平市

No. 31 八幡平市総合運動公園体育館, No. 32 八幡平市総合運動公園野球場

ツーリズムの適性	1 大規模大会 2 合宿 3 プロスポーツとの連携 4 希少施設
今後望まれる機能	・暖房機能の高規格化（大・合） ・音響設備の高規格化，大型ビジョンの新設（大） ・Wi-Fi 等情報環境の整備（大・合） ・ビデオ撮影，処理システムの設置（大・合） ・多言語対応，音声誘導等のアクセシビリティ設備（大・合） ・LED照明の導入（大・合）
もたらされる効果	・大規模大会誘致の優位性の確保（大） ・大会運営環境の向上（大） ・合宿誘致の優位性の確保（合） ・観戦環境の快適化（大・合） ・通信環境の快適化（大・合）
その他望まれる事項	・宿泊施設と競技会場への移動手段の充実（大・合） ・交通拠点（JR大更駅）からの移動方法（大）

No. 39 八幡平市松尾相撲場

ツーリズムの適性	1 大規模大会 2 合宿 3 プロスポーツとの連携 4 希少施設
今後望まれる機能	・音響設備の高規格化，大型ビジョンの新設（大） ・Wi-Fi 等情報環境の整備（大・合） ・ビデオ撮影，処理システムの設置（大・合） ・サブ土俵の増設（大・合）
もたらされる効果	・大規模大会誘致の優位性の確保（大） ・大会運営環境の向上（大） ・合宿誘致の優位性の確保（合） ・通信環境の快適化（大・合）
その他望まれる事項	・宿泊施設と競技会場への移動手段の充実（大・合） ・交通拠点（JR北森駅）からの移動方法（大）

No. 43 八幡平市ラグビー場, No. 44 中山ラグビー場

ツーリズムの適性	1 大規模大会 2 合宿 3 プロスポーツとの連携 4 希少施設
今後望まれる機能	・音響設備の高規格化, 大型ビジョンの新設 (大) ・観客席の設置 (大・合) ・諸室の拡充 (大・合) ・シャワールームの整備 (合) ・Wi-Fi 等情報環境の整備 (大・合) ・ビデオ撮影, 処理システムの設置 (大・合) ・多言語対応, 音声誘導等のアクセシビリティ設備 (大・合)
もたらされる効果	・大規模大会誘致の優位性の確保 (大) ・合宿誘致の優位性の確保 (合) ・トップチームが求める合宿水準への対応 (合) ・大会参加者, 観客の利便性確保 (大) ・通信環境の快適化 (大・合)
その他望まれる事項	・特になし

No. 50 八幡平市田山スキー場・射撃場 (ローラースキーコース)

ツーリズムの適性	1 大規模大会 2 合宿 3 プロスポーツとの連携 4 希少施設
今後望まれる機能	・音響設備の高規格化, 大型ビジョンの新設 (合) ・Wi-Fi 等情報環境の整備 (合) ・ビデオ撮影, 処理システムの設置 (合) ・多言語対応, 音声誘導等のアクセシビリティ設備 (合)
もたらされる効果	・大会運営環境の向上 (希) ・合宿誘致の優位性の確保 (合) ・通信環境の快適化 (合)
その他望まれる事項	・宿泊施設と競技会場への移動手段の充実 (合) ・交通拠点 (J R 田山駅) からの移動方法 (合)

③滝沢市

No. 58 滝沢総合公園体育館

ツーリズムの適性	1 大規模大会 2 合宿 3 プロスポーツとの連携 4 希少施設
今後望まれる機能	・バリアフリー化（大・合） ・Wi-Fi 等情報環境の整備（大・合）
もたらされる効果	・施設利用環境の向上（大・合） ・通信環境の快適化（大・合）
その他望まれる事項	・広域での宿泊施設連携体制の整備

No. 59 滝沢総合公園野球場

ツーリズムの適性	1 大規模大会 2 合宿 3 プロスポーツとの連携 4 希少施設
今後望まれる機能	・LED 照明の導入 ・トイレの洋式化
もたらされる効果	・大規模大会，合宿誘致の優位性確保 ・施設利用環境の向上
その他望まれる事項	・広域での宿泊施設連携体制の整備

④雫石町

No. 62 雫石町総合運動公園（陸上競技場）

ツーリズムの適性	1 大規模大会 ☒ 2 合宿 3 プロスポーツとの連携 4 希少施設
今後望まれる機能	・現状の機能の維持 ・音響設備の高規格化 ・Wi-Fi 等情報環境の整備 ・多言語対応，音声誘導等のアクセシビリティ設備
もたらされる効果	・通信環境の快適化 ・施設利用環境の向上
その他望まれる事項	・特になし

No. 63 雫石町営体育館

ツーリズムの適性	☒ 1 大規模大会 ☒ 2 合宿 3 プロスポーツとの連携 4 希少施設
今後望まれる機能	・ゴール，審判台などの競技設備（大） ・LED 照明の導入（大・合）
もたらされる効果	・全国大会等で求められる設備水準への対応（大）
その他望まれる事項	・特になし

No. 64 雫石町営野球場

ツーリズムの適性	1 大規模大会 ☒ 2 合宿 3 プロスポーツとの連携 4 希少施設
今後望まれる機能	・現状の機能の維持 ・LED 照明の導入 ・音響設備の高規格化 ・Wi-Fi 等情報環境の整備
もたらされる効果	・通信環境の快適化 ・施設利用環境の向上
その他望まれる事項	・特になし

No. 71 旧南畑小学校（トランポリン・アーチェリー）

ツーリズムの適性	1 大規模大会 2 合宿 3 プロスポーツとの連携 4 希少施設
今後望まれる機能	・トランポリン練習スペースの拡張（合） ・アーチェリーの通年利用環境（合） ・空調設備整備（合） ・LED 照明の導入（合） ・Wi-Fi 等情報環境の整備（合） ・トイレの洋式化（合）
もたらされる効果	・合宿誘致の優位性の確保（合） ・通信環境の快適化（合） ・施設利用環境の向上（合）
その他望まれる事項	・競技団体のサポート体制

⑤葛巻町

No. 72 葛巻町社会体育館

ツーリズムの適性	1 大規模大会 ☒ 2 合宿 3 プロスポーツとの連携 4 希少施設
今後望まれる機能	・現状の機能の維持 ・シャワールームの整備 ・冷房設備の整備 ・駐車場不足の解消
もたらされる効果	・合宿環境の向上
その他望まれる事項	・主要駅等から施設への移動手段の充実

No. 73 葛巻町総合運動公園(多目的グラウンド), No. 75 スポーツコート, No. 76 テニスコート

ツーリズムの適性	1 大規模大会 ☒ 2 合宿 3 プロスポーツとの連携 4 希少施設
今後望まれる機能	・現状の機能の維持 ・諸室の拡充 ・トイレの洋式化 (No.75, 76) ・審判台などの競技設備 ・駐車場不足の解消
もたらされる効果	・合宿環境の向上
その他望まれる事項	・主要駅等から施設への移動手段の充実

No. 74 葛巻町総合運動公園(野球場)

ツーリズムの適性	1 大規模大会 ☒ 2 合宿 3 プロスポーツとの連携 4 希少施設
今後望まれる機能	・現状の機能の維持 ・ピッチングマシン等の整備 ・LED照明の導入 ・駐車場不足の解消
もたらされる効果	・合宿環境の向上
その他望まれる事項	・主要駅等から施設への移動手段の充実

⑥岩手町

No. 79 岩手町スポーツ文化センター（森のアリーナ）

ツーリズムの適性	1 大規模大会 ☒ 2 合宿 3 プロスポーツとの連携 4 希少施設
今後望まれる機能	・LED照明の導入
もたらされる効果	・施設利用環境の向上
その他望まれる事項	・宿泊施設と競技会場への移動手段の充実 ・広域での宿泊施設連携体制の整備

No. 82 岩手町総合運動公園（総合グラウンド，ホッケー場）

ツーリズムの適性	1 大規模大会 ☒ 2 合宿 3 プロスポーツとの連携 ☒ 4 希少施設
今後望まれる機能	・LED照明の導入（総合グラウンド）（合） ・音響（照明）設備の高規格化（合）
もたらされる効果	・大会運営環境の向上 ・施設利用環境の向上
その他望まれる事項	・宿泊施設と競技会場への移動手段の充実 ・広域での宿泊施設連携体制の整備

⑦紫波町

No. 85 紫波町総合体育館

ツーリズムの適性	1 大規模大会 2 合宿 3 プロスポーツとの連携 4 希少施設
今後望まれる機能	・諸室の拡充（チームルーム，ミーティング，メディア等）（大・合） ・トイレの洋式化（大・合） ・バリアフリー化（アクセシビリティの向上） ・観客席の増設（大） ・シャワールームの改修（大・合） ・冷房（暖房）設備の整備（高規格化）（大・合） ・駐車場不足の解消（大・合） ・ゴール，審判台などの競技設備（大・合） ・フリーウェイト等のトレーニング施設の充実（大・合） ・音響（照明）設備の高規格化（大・合） ・サブアリーナの改修（大・合）
もたらされる効果	・全国大会等で求められる施設水準への対応（大） ・大会運営環境の向上（大） ・施設利用環境の向上（大・合） ・観戦環境の快適化（大） ・合宿環境の快適化（合） ・プロ公式戦等で求められる施設水準への対応（大） ・大会参加者，観客の利便性確保（大） ・プロ公式戦等で求められる施設水準への対応（大）
その他望まれる事項	・水害への適応 ・上記機能を具備した新設または長寿命化を見据えた外観（屋根・外壁）の改修

No. 86 紫波町多目的スポーツ施設（サン・ビレッジ紫波）

ツーリズムの適性	1 大規模大会 2 合宿 3 プロスポーツとの連携 4 希少施設
今後望まれる機能	・人工芝の張替及び不陸整正（大・合） ・冷暖房設備の整備（高規格化）（大・合）
もたらされる効果	・合宿環境の快適化（合） ・大会参加者，観客の利便性確保（大）
その他望まれる事項	・長寿命化を見据えた外観（屋根・外壁）の改修

⑧矢巾町

No. 90 矢巾町民総合体育館

ツーリズムの適性	1 大規模大会 2 合宿 3 プロスポーツとの連携 4 希少施設
今後望まれる機能	・冷房（暖房）設備の整備（高規格化）
その他望まれる事項	・合宿環境の快適化
その他の課題等	・大規模大会が開催できる施設基準を満たす施設の新設

No. 93 岩手ビッグブルズアリーナ

ツーリズムの適性	1 大規模大会 2 合宿 3 プロスポーツとの連携 4 希少施設
今後望まれる機能	・冷房（暖房）設備の整備
もたらされる効果	・利用環境の快適化
その他望まれる事項	・施設の経年劣化対応

(2) 県が盛岡広域圏に保有する大規模・高規格なスポーツ施設

県とコミッションは盛岡広域圏に保有する大規模・高規格なスポーツ施設について方向性を共有しているものではないが、コミッションが県に期待する役割について以下に記載する。

なお、東日本大震災の発災により事業凍結されている「スポーツ健康科学センター・多目的屋内練習施設」に関しては、期待する役割等についてコミッションとしても今後研究を進めていく必要がある。

No. 94 県営体育館

ツーリズムの適性	☒ 1 大規模大会 ☒ 2 合宿 3 プロスポーツとの連携 4 希少施設
今後期待される機能	・現状の機能の維持 ・冷房設備の整備
もたらされる効果	・全国大会等で求められる施設水準への対応
その他期待される事項	・駐車場の不足（これまでニーズに応じた対応をしている。）

No. 101 県営屋内温水プール

ツーリズムの適性	1 大規模大会 ☒ 2 合宿 3 プロスポーツとの連携 4 希少施設
今後期待される機能	・現状の機能の維持
もたらされる効果	—
その他期待される事項	・主要駅等から施設への移動手段の充実（雫石町内の一部宿泊施設等では、送迎のサービスを行っている。）

No. 102 県営武道館

ツーリズムの適性	☒ 1 大規模大会 ☒ 2 合宿 3 プロスポーツとの連携 4 希少施設
今後期待される機能	・冷房設備の整備
もたらされる効果	・全国大会等で求められる施設水準への対応
その他期待される事項	—

No. 103 県営運動公園（陸上競技場）

ツーリズムの適性	1 大規模大会 ☒ 2 合宿 3 プロスポーツとの連携 4 希少施設
今後期待される機能	・現状の機能の維持
もたらされる効果	－
その他期待される事項	第1種公認の認定により新たな大会の誘致が可能

No. 104 県営運動公園（サッカー・ラグビー場）

ツーリズムの適性	1 大規模大会 ☒ 2 合宿 3 プロスポーツとの連携 4 希少施設
今後期待される機能	・現状の機能の維持
もたらされる効果	－
その他期待される事項	－

No. 106 県営運動公園（テニスコート）

ツーリズムの適性	1 大規模大会 ☒ 2 合宿 3 プロスポーツとの連携 4 希少施設
今後期待される機能	・現状の機能の維持
もたらされる効果	－
その他期待される事項	－

No. 107 県営運動公園（スポーツクライミング競技場）

ツーリズムの適性	☒ 1 大規模大会 ☒ 2 合宿 3 プロスポーツとの連携 ☒ 4 希少施設
今後期待される機能	・現状の機能の維持 ・第1ボルダリング競技場に冷房設備の整備
もたらされる効果	・合宿環境の向上
その他期待される事項	－

No. 108 県営スケート場

ツーリズムの適性	1 大規模大会 2 合宿 3 プロスポーツとの連携 4 希少施設
今後期待される機能	・現状の機能の維持
もたらされる効果	—
その他期待される事項	—

No. 109 御所湖広域公園漕艇場

ツーリズムの適性	1 大規模大会 2 合宿 3 プロスポーツとの連携 4 希少施設
今後期待される機能	・現状の機能の維持
もたらされる効果	—
その他期待される事項	—

(3) 特に公共性の高い民間スポーツ施設

No. 112 紫波町自転車競技場（（一財）紫波町体育協会）

ツーリズムの適性	1 大規模大会 ☒ 2 合宿 3 プロスポーツとの連携 ☒ 4 希少施設
今後期待される機能	・現状の機能の維持
もたらされる効果	－
その他期待される事項	－

No. 113 オガールアリーナ（㈱オガール）

ツーリズムの適性	1 大規模大会 ☒ 2 合宿 3 プロスポーツとの連携 ☒ 4 希少施設
今後期待される機能	・現状の機能の維持
もたらされる効果	－
その他期待される事項	－

No. 116 安比高原テニスクラブ（㈱岩手ホテルアンドリゾート）

ツーリズムの適性	☒ 1 大規模大会 ☒ 2 合宿 3 プロスポーツとの連携 4 希少施設
今後期待される機能	・現状の機能の維持
もたらされる効果	－
その他期待される事項	－

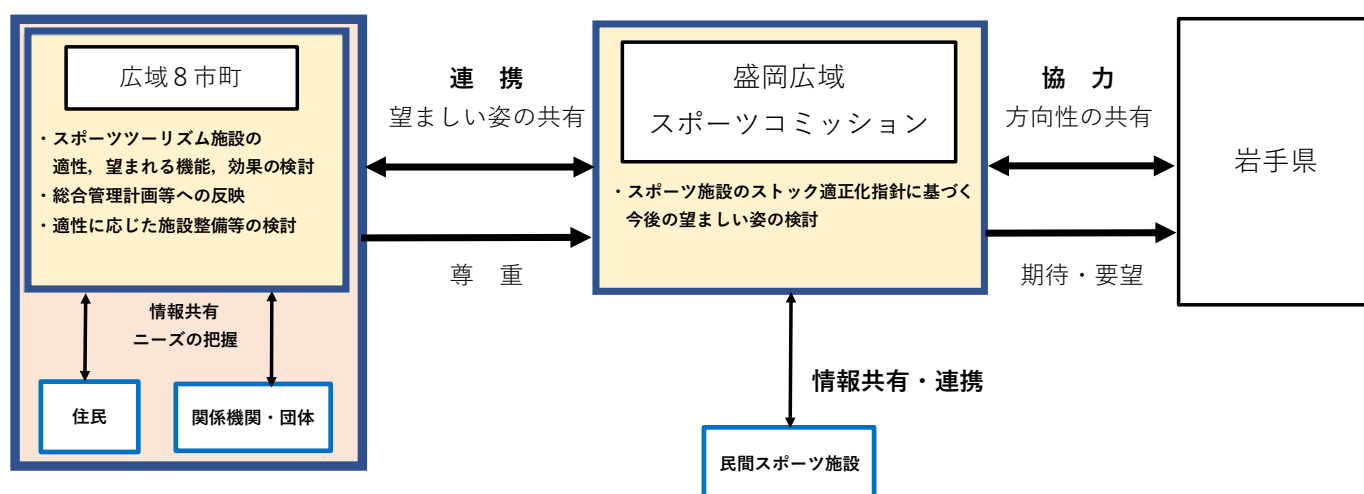
第5章 まとめ～スポーツの力が盛岡広域圏の未来を創る～

本指針においては、第1章において基本事項を定め、第2章、第3章において対象とするスポーツ施設に係る基本情報をデータベース化し、現状と課題を整理した。さらに、第4章では対象をスポーツツーリズム施設に絞って、今後の望ましい姿を明らかにした。

今後、厳しい都市間・地域間競争を勝ち抜く必要がある中で、住民サービスを維持しつつ着実にスポーツツーリズムの成果を収めていくためには、8市町間、関係機関・団体間の連携・協力が大前提となる。

本指針の策定を契機に連携・協力の機運が醸成され、広く“スポーツの力が盛岡広域圏の未来を創る”を実感できる社会の実現を願うものであり、施設整備の実施主体にはなり得ないコミッションの性格上、課題の掘り下げや望ましい姿の明確化が必ずしも十分ではないことを認めつつも、各市町が今後ストック適正化を進めていく上での指針として活用されることを期待する。

本指針が目指す盛岡広域圏におけるスポーツツーリズム施設の適正化



参考資料

1 盛岡広域スポーツコミッション施設共有化・適正配置専門委員会での検討の経緯

日時	会議名	内容
平成 29 年 9 月	アンケート調査	住民対象
平成 30 年 12 月 3 日	平成 30 年度理事会	スポーツ施設の共有化・適正配置の検討に係る専門委員会の設置について
平成 31 年 2 月 1 日	第 1 回専門委員会	
令和元年 6 月 5 日	第 2 回専門委員会	
令和元年 6 月	実態調査	スポーツ施設利用実態調査実施（施設利用者対象）
令和元年 11 月～ 令和 2 年 1 月	実態調査	スポーツ施設利用実態調査の補完調査実施（施設への訪問聞き取り）
令和 2 年 2 月 20 日	令和元年度理事会	スポーツ施設利用実態調査（中間報告）について
令和 2 年 10 月 19 日	第 3 回専門委員会	
令和 3 年 2 月 9 日	令和 2 年度理事会	「盛岡広域圏におけるスポーツ施設のストック適正化指針」骨子の了承
令和 3 年 11 月 8 日	第 4 回専門委員会	
令和 4 年 2 月 22 日	令和 3 年度理事会	「盛岡広域圏におけるスポーツ施設のストック適正化指針」の決定

2 委員会構成員（令和 3 年 4 月現在）

国立大学法人岩手大学

公立大学法人岩手県立大学

学校法人盛岡大学

公益財団法人盛岡市スポーツ協会

一般社団法人八幡平市体育協会

公益財団法人滝沢市体育協会

一般財団法人雫石町体育協会

一般財団法人雫石町体育協会

特定非営利活動法人葛巻町スポーツ協会

一般財団法人岩手町体育協会

一般財団法人紫波町体育協会

特定非営利活動法人矢巾町体育協会

（オブザーバー）盛岡広域 8 市町，盛岡広域振興局



盛岡広域圏におけるスポーツ施設のストック適正化指針

発行日 2022 年 2 月

編 集 盛岡広域スポーツコミッション事務局

(盛岡市交流推進部スポーツ推進課スポーツツーリズム推進室)

〒020-8530 盛岡市内丸 12-2

電話 019-651-4111 (代表)

電話 019-603-8009 (直通) FAX 019-603-8015

E-mail sports-t@city.morioka.iwate.jp

ホームページ <https://greater-morioka-sc.jp/>